マップNo.3

西播磨の山城

NISHIHARIMA MOUNTAIN CASTLE

あまこやまじょう

尼子山城

（別称：赤穂富士）

赤穂市

120min.(往復)

見どころポイント（山城ピクトグラム）

特におすすめ

眺望良好

磐座（いわくら）

標高	約259m
体力度	★★★★☆
技術度	★★★★★
対象	中・上級者
駐車場	千種川の河川敷駐車場を利用 バス駐車可（中型）
トイレ	なし
備考	山頂からの眺望は瀬戸内の島々を一望できます。

尼子山城の詳細はコチラ！
山城に登っている動画もcheck

【観光案内】観光情報センター（（一社）赤穂観光協会）　TEL.0791-42-2602

概 要

主な城主：尼子将監（義久）
標　　高：259m
形　　態：連郭式山城（中世）

「赤穂富士」ともよばれる、赤穂市にある標高259メートルの尼子山に築城された城です。「尼子の大岩」や「尼子の巨石」と呼ばれる見る者を圧倒する巨石があり、今にも転げ落ちそうに見える岩は、敵への攻撃に備えるためとも、自然のままとも伝えられています。
巨石の上や頂上からの瀬戸内海を見晴らす眺望は、淡路島や四国まで広く見渡すことができます。

【歴 史】

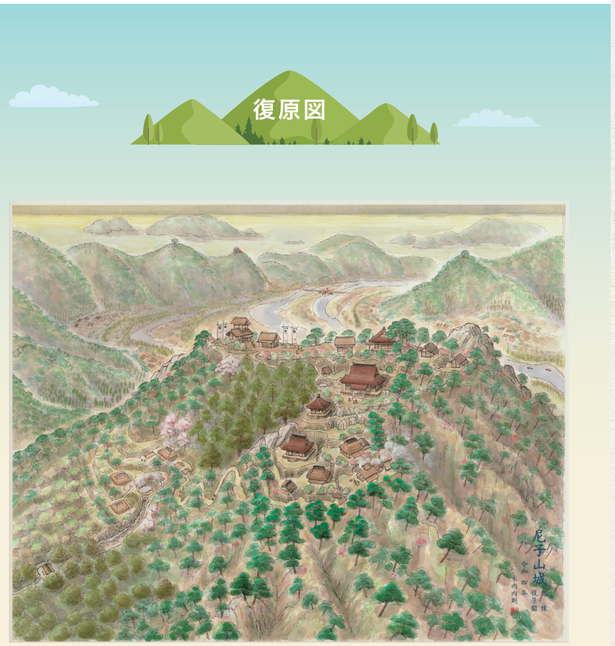
後に山陰、山陽8カ国、120万石の太守となった尼子晴久が、天文7年（1538年）に播磨に侵攻し、このとき尼子氏の城となっていた可能性があります。尼子氏が城山城（きのやまじょう）を拠点に支配を拡大するなかで、尼子山城もその勢力下にあったと考えられています。
毛利と尼子の戦いにおいて、毛利勢は天然の要害尼子山城に苦戦を強いられます。1人の老婆に抜け道を教えられ、尼子軍を背後から不意打ちし、城攻めを成功させたとの伝説や、落城時に刎ねられた尼子義久の首が麓の浜市まで飛んでいったという伝説が残されています。
また、登山口すぐのところに義久の墓と言われる墓が残されています。史実では、義久は慶長15年（1610年）に長門（ながと）で死去しており、ここに義久が埋葬されているわけではないようですが、城跡が地元の人々に大切にされてきたことが分かる場所です。

発行：兵庫県西播磨県民局 県民躍動室 地域振興課
〒678-1205　兵庫県赤穂郡上郡町光都2-25　TEL 0791-58-2144

LET'S GO YAMAJIRO

管内の主な山城

2026年6月改訂



（中世城郭研究家　木内内則）

登山口までのアクセス

電車の場合

JR姫路駅 → JR山陽本線約30分 → JR坂越駅 → 徒歩約40分 → 尼子山城登山口

バスの場合

市内循環バス「ゆらのすけ」高野ルート
※高野方面は月・水・金曜日にかぎり運行

JR播州赤穂駅 → 高野集会所下車 → 高野集会所 → 徒歩約5分 → 尼子山城登山口

車の場合

山陽自動車道『龍野西IC』 → 約20分 → 坂越大橋東詰ポケットパーク → 徒歩約20分 → 尼子山城登山口
山陽自動車道『龍野西IC』 → 約20分 → 千種川河川敷スポーツグラウンド駐車場 → 徒歩約10分 → 尼子山城登山口

登山の装備と持ち物チェックリスト（一例）

基本的な登山の服装や絶対に必要な持ち物のチェックリストを作成しましたので、最後のチェックにお役立てください。

- ☐ タオル
- ☐ ゴミ袋
- ☐ 雨具（カッパ等）
- ☐ 絆創膏
- ☐ 着替用肌着
- ☐ 虫除けスプレー
- ☐ 水・飲料
- ☐ 登山用ステッキ

西播磨の山城御城印

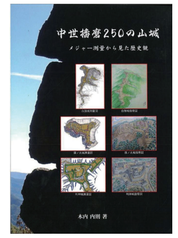
西播磨の山城イレブンの御城印を販売しています。佐用町の伝統産業である「皆田和紙」を使用した御城印もあります。

山城グッズ紹介一覧はこちら

在庫状況については各店にお問合せください
デザイン等、予告なく変更になる場合があります。

書籍「中世播磨250の山城」メジャー測量から見た歴史観

中世城郭研究家の木内内則（きうちただのり）氏が播磨の山城300箇所以上に登りメジャーで測量した結果をもとに、縄張り図や建物の復原図を描かれたものを掲載した山城マニア垂涎の図書。2018年に出版された内容に、西播磨の山城復活プロジェクトのために新たに描いた利神城（りかんじょう）、篠ノ丸城（ささのまるじょう）の想像復原図などが追加掲載された改訂版。



西播磨ツーリズム振興協議会

西播磨の山城 / 西播磨遊記 / Instagram / X / You Tube

⚠山で出会う危険なもの

山登りの事前に知識を身につけて予防できることと、対応を一部ご紹介します。

⚠ヤマビル（6月～9月は特に注意）

- 肌の露出を避け、忌避剤（イカリジン・ディート等）を使用しましょう。
- 咬まれた時は吸盤を爪でこそぎ取り、傷口を指先でつまんでヒルの唾液成分を絞り出し洗い流します。
- 虫刺され軟膏等を塗布して絆創膏を貼ります。
- 吸血したヤマビルは産卵して増えるので必ずその場で退治しましょう。

⚠スズメバチ（7月～10月は特に注意）

- 攻撃的で強い毒を持ち、山で出会う病害虫で最も危険度が高い生物です。
- スズメバチを誘因しやすい黒っぽい服装や香水、ヘアスプレーは避けましょう。
- 刺されたときは、その場からすぐに離れて流水で傷口を洗い流しましょう。下山後は医療機関を受診し手当を受けましょう。

⚠毒蛇（マムシ・ヤマカガシ）

- 藪や茂みに入らない。
- 咬まれたら患部付近を縛り、速やかに医療機関を受診しましょう。

⚠マダニ

- マダニに咬まれると、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などの感染症に感染する危険があります。
- 肌の露出を避け、忌避剤（イカリジン・ディート等）を使用しましょう。
- 咬まれた時は自分で除去せず医療機関（皮膚科等）を受診しましょう。
- ダニが媒介する感染症は死亡例もあります。咬まれた時は数週間は様子を見て、発熱等あれば必ず医療機関を受診しましょう。

⚠クマ

- クマよけの鈴やラジオを携帯するなど、こちらの存在をクマに気づかせるようにしましょう。
- 大抵の場合はクマのほうから避けてくれますが、もし出くわしてしまった場合は、クマの目を見ながらゆっくりと後ずさりして距離を取り、絶対に背中を見せて逃げないようにしましょう。
- 子連れのクマは大変危険です。見かけても絶対に近寄らないように！

⚠毒キノコ

- 誤って毒キノコを食べ、食中毒を起こす事例が後を絶ちません。
- 外見で毒キノコと食用キノコを判別することは非常に困難です。
- 山でキノコは採らない、食べない！を徹底しましょう。

テングタケ
食後30分程で嘔吐、下痢、腹痛など胃腸消化器の中毒症状が現れる。

ドクツルタケ
日本で見られる中では最も危険な部類の毒キノコ。誤って食べると、死亡することもある恐ろしいキノコです。

毒キノコ4原則
原則1 採らない！
原則2 食べない！
原則3 売らない！
原則4 人にあげない！